

# 記念スピーチ

タミル・ナードウ州 S・S・バルナーラー知事（マドラス大学総長）

川田洋一博士、ラマチャンドラン副総長、オオウチ博士、招待客の皆さま、スタッフの皆さま、そしてインド創価学会の皆さま。

マドラス大学創立150周年の記念慶祝行事の一環として、「法華経——平和と共生のメッセージ」展を開催できますことは、私にとりまして、大いなる喜びでございます。

インドは、多くの宗教にとつての故郷です。ほとんどすべての宗教は、アジア大陸で発祥しました。インドは、精神の国、多文化の国、多言語の国であり、多

様なものを統合してきた偉大な歴史をもっております。

また、インドは、世界中に非暴力と寛容性を教示してきた国でもあります。宗教と信仰が、人々を真理、平和と愛の原理へと結びつけ、調和に満ちた生活への道へと導きます。

各々の宗教は、各々の独自の核をもっていますが、すべての道は1本の道、すなわち平等、人間性、愛、平和と愛情の道に通じているのです。

スワミ・ヴィヴェーカーナンダは、「世界宗教会議」

におけるスピーチで、次のように述べています。

「私は、あらゆる人々に対する寛容と受容という理念を世界に教えてきた宗教に属していることを、誇りに思います。私たちは、すべての人に対する寛容を信念とするのみならず、すべての宗教を真実のものであると認めます。また私は、世界のすべての宗教および国家から迫害された人々と難民をかくまってきた国に属することを、誇りに思います。私は、今朝、この会議を記念して鳴り響いた鐘が、すべての狂信的行為や迫害の終わりを告げる鐘であることを熱烈に望みます。そして、この鐘が、同じ役割を感じている人々の間の慈悲深い感情を打ち鳴らすことを、望んでおります」

ヒンドゥー教徒、ユダヤ教徒、キリスト教徒、ジャイナ教徒、仏教徒、シーク教徒、イスラーム教徒たちの個人的生活や家庭生活、社会生活は、彼ら自身の宗教によって正しい道へと導かれます。

それら世界の宗教は、すべての人々の心を新たに結びつけます。仏教の哲学は、平和、不戦主義、非暴力

の哲学です。仏教の教義、哲学、文学および芸術は、人類社会の多くの部分を教化し、開化させてきたのです。

もっとも重要で影響力のある仏教経典の一つは、法華経です。法華経のメッセージは、仏性——すなわち絶対的幸福、恐れのないこと、あらゆる幻想からの解放——が、すべての生命に内在しているということです。内なる生命状態の発展は、すべての人が、自ら直面する諸問題を克服し、他者とともに調和し、満ち足りて生きることを可能にさせるのです。

この法華経展が、「平和と共生のメッセージ」に焦点を当てて作成されたこと、またこの展示が、法華経のさまざまな譬喩を表現していること、さらにこの展示が、中央アジアから中国、韓国そして日本へと至るシルクロードにおける「法華経の旅」をたどっていることを知り、私はとてもうれしく思っております。

### 友愛の実現が宗教の真髄

法華経は、仏教においてもっとも影響力のある経典



ターバン姿のタミル・ナードゥ州バルナラー知事（マドラス大学総長）をはじめ来賓が、貴重な法華経写本資料を熱心に見学。開幕式の模様は、インド国営テレビと新聞9紙で報道された

であると、広く考えられています。その中心的なテーマは、すべての人々が等しく、そして例外なく、仏性を内在させているという理念です。法華経のメッセージは、人々が自らに仏性が内在すること、勇気、智慧、慈悲への能力が内在することを確信するよう鼓舞するのです。

すべての人が成仏できることは、従来、成仏を否定されていた女性や悪人が成仏したという例によって示されます。法華経では、個人の内なる決意がすべてを変えることができると考えられています。法華経は、各々の人間生命に内在する可能性と尊厳に最終的な表現を与えているのです。

こうした点において、池田博士が創設された東洋哲学研究所は、人々の生活上の諸価値の創造に貢献するとともに、より豊かな文化の創造への源を提供するであろう東洋の智慧の伝統の豊かな蓄積を、人々が見出すことに資しているのです。

インドにおいて、インド創価学会が、さまざまな展示を通して平和の推進に貢献されていること、また、

50万人を超える人々がそれらの展示を鑑賞したということは、人々を勇気づけることであります。

あらゆる宗教は、心について説いています。それは調和に満ちた生活の核心であります。私たちは、人間として、憎悪や復讐を避けなければなりません。人間は、愛と慈悲の精神を涵養しなければなりません。人々との間の友愛が実現するならば、私たちは調和した社会を形成することができます。これは、すべての宗教の真髄なのです。

私は、この法華経展を訪れる方たちが、「心とは蓮華のようなものである」とのメッセージを受け取ってくださることを確信しております。蓮華は自ら開花します。それと同じく、人間の心も自ら開花するのです。

最後に、東洋哲学研究所ならびにインド創価学会のメンバーに、心からの祝辞を述べるとともに、皆さまが「平和と共生のメッセージ」を広めゆく上で大いなる成功を収められますことを、心より念願いたします。